



注目！話題の新製品

Topics

さらなる解像度や描写性を引き出す フルテックの電源アイテムで アナログ再生にも確かな効果

スリム端子で狭い場所にも装着しやすい電源ノイズフィルターと、6口タイプの高品位電源ボックスがフルテックから新発売された。いずれもすでに高評価を得る製品の姉妹モデルで、同社製の高品位パーツや技術を随所に盛り込む。アナログにノイズ対策は不要と思われがちだが、そうなのか？ 実際に試してみよう。



Text by
角田郁雄
Ikuro Tsunoda
Photo by 田代法生

FURUTECH GTO-D3 NCF (R)

電源ボックス ¥194,810 (税込)

Specifications

●筐体：特製CNC加工特殊グレードアルミシャーシ+特殊フルオロポリマー製ダンピングオイル (RFI防止) ●IECインレット：「FI-09 NCF (R)」(非磁性ロジウムメッキ、α純銅ロジウムメッキ導体、特殊な「NCF」共振減衰材料を使用したナイロン/クラスファイバー) ●出力：GTOシリーズ専用特殊NCFグレードコンセント (非磁性リシン青銅素材ロジウムメッキグレード仕様) ●アウトレットカバー：「106-D Plus NCF」 ●内部配線：高純度μ-OFC Alpha-22 (3.8sq mm) 導体+2層フッ素ポリマーとポリエチレン絶縁体 ●サイズ：約108.5W×77H×410Dmm (スバイク部除く) ●質量 (ネット)：約3.1kg



FURUTECH Flow-C15 Filter (G)

ノイズフィルター内蔵電源供給ユニット ¥34,760 (税込)

Specifications

【IEC入力部】●導体：24K金メッキα (アルファ) 非磁性銅合金 ●アウターハウジング：ニッケルメッキ銅板 ●インナーボックスとカバー：PBT (ポリブチレンテレフタレート) ●定格電流/電圧：AC125V 15A / AC250V 10A 50/60Hz
【出力端子】●FI-C15 (G)
【ケーブル部】●導体：銀メッキα (Alpha) μ-OFC導体37-strand 0.25mm×2コア、α (Alpha) μ-OFC導体37-strand 0.25mm×1コア ●絶縁体：特殊なポリエチレン (赤、白、緑色、外径約3.43mm) ●インナーケース：RoHS 指令適合 カーボンパウダー調合柔軟性PVC ●シールド：0.12mm α-導体磁気合わせ編組 ●アウタースリーブ：RoHS 指令適合 柔軟性PVC、外径：約12.9mm

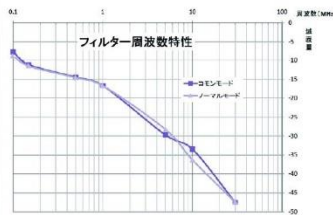
電源環境はアナログでも想像以上に影響を受けている。長年、手塩にかけ続けてきたアナログ再生システム。「フルボリウムでも一切ハウリングが起これず、いい音を極めたかのように思えるが、なぜか音の透明度、弱音の深み、さらなる解像度と空間描写性が得られていない」。これは機器を一定にしている場合、電源環境の影響が多いからと想像できる。パソコンやインバーター内蔵のエアコン、冷蔵庫など家電の排出するノイズが商用電源に影響し、その電源を使用するオーディオ機器は、機器本来の性能や音質が得られなくなる。それだけではない。良質な電源を回路に供給しているオーディオ機器内の電源部からも、微量ながらノイズを商用電源へ排出する。そのノイズ排出量は、世界各国で規制されているほどだ。

高評価の電源フィルターがスリム端子モデルで新発売

フルテックはこうした電源環境にも着目し、2010年以來、オーディオグレード・インラインフィルターを発売してきた。



Flow-C15 Filter (G)に内蔵のフィルターユニットとフィルター周波数特性



これは機器と電源ケーブルの間、または電源ボックスと電源ケーブルの間に挟み込むように装着するだけで、ノイズ低減が行えるアイテムだ。その最新モデルとなる、Flow-C15 Filter (G)が今回発売された。

本機は、既発売のFlow-C15 Plusのノイズ低減効果を維持しながら、出力側IECコネクターをスリムタイプのFIIC15 (G)に変更し、従来の丸形コネクターが挿せない製品にも対応した。汎用性を



Flow-C15 Filter (G)を電源ボックスの供給元に接続した例。スリムIEC出力端子は、薄型ボディや端子周辺スペースの狭い機器、さらにSL-1200Gやmk7など奥まった場所に電源入力端子のある機器にもお薦め

さらに注目は、フィルターだ。インレットコネクター(入力側)とは一体化されているが、その内部には極太の並列コイルとコンデンサーが組み合わされている。

高めたのだ。そのFIIC15 (G)のボディは制振性の高いナイロン樹脂が使われ、電極部は金メッキ処理の純銅にαブロッセス処理(超低温処理)を採用。不要ノイズ放射も低減させている。ケーブル部は銀メッキカーボン(シルド)された3芯銀メッキ(OFCC)で、伝送特性に影響する絶縁体は、振動と外来ノイズを遮断し、柔軟性の高いカーボンパウダー調の高機能PVCを採用(2重シース構造)。



コンセント部や機器の電源入力部に装着してクオリティアップする、フルテックの「NCF Booster-Brace」¥27,555(税込、左)、「NCF Booster-Brace-Single」¥19,206(税込、右)

特性としては、100kHzで約8dB、500kHzで約14dBのノイズ低減を行い、10MHzでは約33dB、30MHzでは約48dB低減する広帯域ノイズフィルター特性だ。このフィルターを収容する筐体も制振性の高い特殊樹脂で、ケーブルクランプ部(ケーブルを挟む部分)も重厚な制振ステンレス金属を採用した。

透明度やDレンジを改善し、美しい余韻や倍音も引き出す
実際に、愛用の半導体フォノイコライザーで使用したが、大きく変化したことは、音の透明度が高まり、微細な音がクロリアップされたことだ。不要な雑味を取り払われた印象だ。これにより、明らかに解像度と空間描写性が高まった。それだけではなく、弱音から強音のダイナミックレンジが拡張され、カートリッジやフォノイコライザー本来の音が再現されたように思えた。次に真空管フォノイコライザーで試すと、透明感のある美しい余韻や弱音、そして真空管ならではの豊かな倍音が再現された。これも、明らかに本機の効果と言えるだろう。

電源ボックスの入力に使うと相乗効果で高解像度を実現

今回は機会あって、同社の新製品の電源ボックスGTO-D3 NCF (R)と組み合わせることもできた。まず、本フィルターをフォノイコライザーに使用し、本電源タップに接続したが、この音は、さらに静電気とノイズが低減され、ベールを一枚も二枚も剥いだような透明感が得られた。ヴォーカルの声質は、まさに肉声のようだ。
徐々に本フィルターの数を増やし、プリアンプやプレーヤーにも使うと、さらに大きな効果をもたらすことであろう。しか

し、これは費用も大変だ。そこで、本電源ボックスの入力に使ったら、どうなるか試してみた。これも実に良かった。プリアンプ、フォノイコライザー、プレーヤーの静電気とノイズ低減効果が一層、効果的に発揮され、アナログシステム全体が静かになり、予想を超えた高解像度再生が実現した。特に今まで聴こえてはいたが、気に留めなかった微細音がクローズアップされたのだ。本電源ボックスにもノイズ低減効果があるが、さらに本電源フィルターを接続すると、ノイズ低減効果が一層高まる。これは商用電源ノイズが低減されただけではなく、本電源ボックスの効果により、機器間のノイズ干渉も低減したからであろう。両製品を組み合わせれば、静電気、振動、さらなる電源ノイズ低減が実現する。しかも、シンプルな構成で価格もリーズナブルだ。
また、電源プラグホルダー、NCF Booster-Braceも組み合わせれば、さらに進化するであろう。専門店でも試し、徐々にアップグレードしてみよう。